



2025年3月期 中間期 決算説明会

2024年11月20日

株式会社SRAホールディングス
代表取締役社長 大熊 克美





1

SRAグループについて

2

2025年3月期 計画

3

2025年3月期 中間期 決算概要

4

施策の進捗状況と今後の取り組み

5

株主還元



1

SRAグループについて

グループの強み



技術先進性 Advanced Technology

デジタルビジネスの成功を先進技術で実現
先進技術と基礎技術を組み合わせ新しい「価値」を提供

デジタルトランスフォーメーションを支えるAI、クラウド、セキュリティ、さらに、これらを含む総合技術であるIoT—これらの先進技術と基礎技術を組み合わせ、様々な業界のリーディングカンパニーであるお客様に対し、デジタルビジネスを成功に導く、新しい「価値」を提供いたします。

グローバル・リーチ Global Reach

世界の有望市場で拡充するSRAネットワーク
グローバル展開を図るお客様に国際競争力強化に直結するサービスを提供

海外拠点の実績、ノウハウとグローバル・リーチを活かし、海外ビジネスを推進している日系企業・現地企業のお客様はもとより、これから海外市場に進出されるお客様に対しても国際競争力強化に直結する各種サービスを提供しています。また、IT技術の進展と先々のニーズをいち早く捉え、市場優位性のある技術やサービスを有する海外企業と業務・資本提携を行なうなど、国内外のお客様へのサービス拡充も図っています。

優良顧客基盤 Customer Success

技術力と業務知識を活かしたシステム構築、運用サービス
独立系のニュートラルな立場でお客様のIT戦略を成功に導く最適なソリューションを提供

企業や大学において、成長戦略の中枢を担うIT。SRAは、先進技術力と各業界における業務知識、実績、ノウハウを活かしたシステムの構築により、IT戦略を成功に導きます。また、クラウドコンピューティングの普及に伴います高まるセキュリティとコンプライアンスに対する要求に対し、高い技術力と長年にわたる経験、信頼に基づく運用サービスも提供しています。

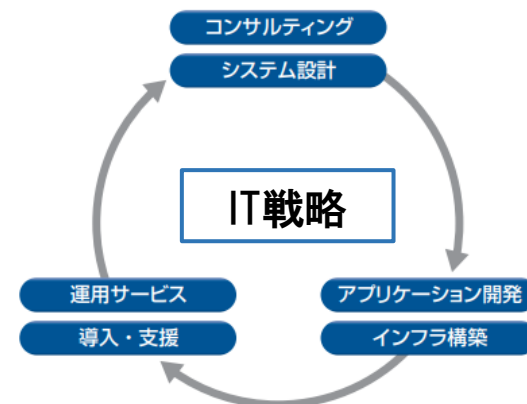
事業内容



デジタルトランスフォーメーションを支えるAI、クラウド、ビッグデータ/アナリティクス、セキュリティなどの先進技術と、当社グループが長年培ってきた基礎技術を組み合わせ、各業界のリーディングカンパニーであるお客様に対し、独立系のニュートラルな立場でデジタルビジネスを成功に導く、新しい「価値」を提供しています。

また、グローバル化に伴うビジネス／システムの拡充についても欧米・アジアの各拠点の優位性を活かしたサービスを展開しています。

さらに、クラウドコンピューティングの普及に伴いますます高まるセキュリティとコンプライアンスに対する要求に対し、高い技術力と長年にわたる経験、信頼に基づく運用サービスも提供しています。



開発事業

- 金融ITサービス
- 組込ITサービス
- 文教ITサービス
- 業務システム開発
- コンサルティング
- アナリティクス

運用・構築事業

- アウトソーシングサービス
(構築・リモート監視等)
- インフラ運用サービス
(ネットワーク、サーバ等)
- システム運用サービス
- インフラ構築
(ネットワーク、サーバ等)

販売事業

- ハードウェア
- 内部統制/セキュリティ
- AI
- オープンソースソフトウェア
- 文教
- 開発支援、システム品質
- ヘルスケア

事業セグメント



開発事業

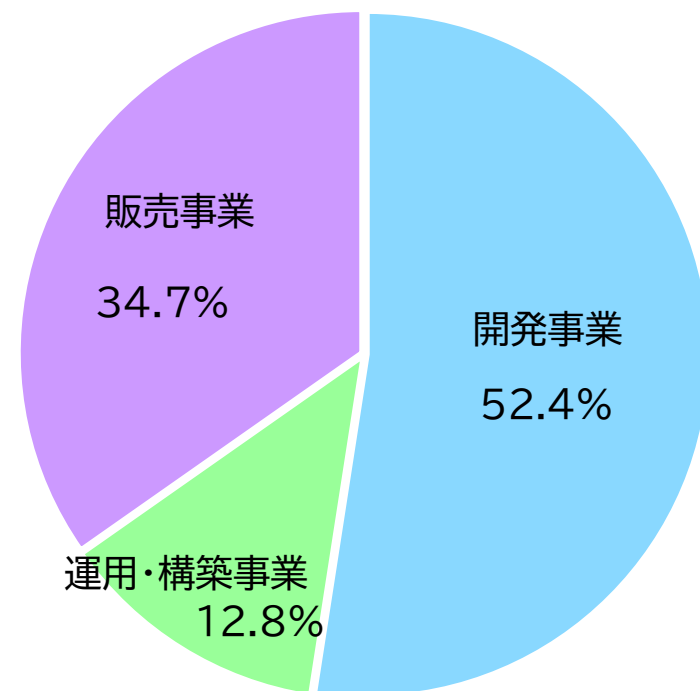
SRAの強みである「先進技術力」と長年の実績に基づく豊富な業務知識・ノウハウを活かし、金融・製造／組込・文教など幅広い分野のお客様に対し、IT戦略を成功に導くシステムを提供しています。

運用・構築事業

強固なセキュリティや安定稼動が必須とされる大企業・中堅企業や先進技術への関心が高い国公立大学・私立大学に対し、システム運用サービスおよびインフラ構築・運用サービスを提供しています。

販売事業

実績豊富なサーバ等のハードウェア製品、SRAの研究技術に基づく自社IP製品、海外・国内の先進的製品を販売するとともに、付加価値の高いソリューションとしても提供しています。



セグメント別売上高構成比
(2024年3月期)

ビジネスフィールド



製造/組込IT (ビジネスユース)

- FA機器、工作機械、自動倉庫
- 放送局向け機器
- デジタルシネマ
- 映像配信システム
- カラオケシステム
- POSシステム
- 医療用検査機器・測定機器

ヘルスケア

- デジタルヘルスサービス [HEALTHPLAYER]

文教IT

- 総合文教ソリューション [UniVision]
- 学務・入試・会計システム
- 通信教育
- 就職システム
- 学生ポートフォリオ
- 医療・看護系学生ポートフォリオ
- 大学情報データベースシステム
- キャンパスネット
- インフラ構築・運用サービス

金融IT

- 都銀・地銀・信託：勘定系・情報系・市場系システム
- 証券会社：資産運用系システム、オンライントレードシステム
- 生損保：基幹・業務系システム

企業・業務IT

- 物流システム
- 会計システム
- 生産管理システム
- 販売・在庫管理システム
- 顧客管理システム
- 人事・基幹システム (電力・ガス・鉄道・航空等)
- インフラ構築・運用サービス

製造/組込IT (パーソナルユース)

- デジタル家電 (TV/レコーダー、オーディオ機器、パソコン、高性能ゲーム機器)
- モバイル (スマートフォン、タブレット)
- 複合機、プリンター
- カーナビ、車載システム
- ホームセキュリティ
- ホームエネルギーマネジメントシステム

ハードウェア

- UNIX、Linuxサーバ製品 他

製品・ソリューション

- クラウド対応運用管理 [Cavirin]
- オープンソースDB [PowerGres]
- メールアーカイブ [MailDepot]
- テスト自動化 [TestDepot] [Testabish]
- ワイヤレス関連製品 (Proxim) 他



2

2025年3月期 計画

2025年3月期 計画



単位:百万円

	2025年3月期 計画	2024年3月期 実績	増減
売上高	49,500	47,125	+ 2,375
粗利益	13,000	11,951	+ 1,049
粗利益率	26.3%	25.4%	0.9%
販売管理費	5,700	5,043	+ 657
販管費率	11.5%	10.7%	0.8%
営業利益	7,300	6,907	+ 393
営業利益率	14.7%	14.7%	0.1%
経常利益	7,350	8,575	△1,225
経常利益率	14.8%	18.2%	△3.3%
親会社株主に帰属する 当期純利益	4,600	4,584	+ 16
1株当たり当期純利益	365.49円	367.82円	△2.33円
1株当たり配当金	170.00円	160.00円	+ 10.00円

(営業活動費等増加)

(前期為替差益等の
要因を考慮)

※2025年3月期計画 販売管理費には「投資」を含む

計画/セグメント別 売上高



単位:百万円

	2025年3月期 計画	2024年3月期 実績	差異 (増減率)
開発事業	26,500	24,711	+1,789 (+7.2%)
運用・構築事業	6,900	6,043	+857 (+14.2%)
販売事業	16,100	16,370	△270 (△1.6%)
合計	49,500	47,125	+2,375 (+5.0%)

計画/主要グループ会社別 売上高

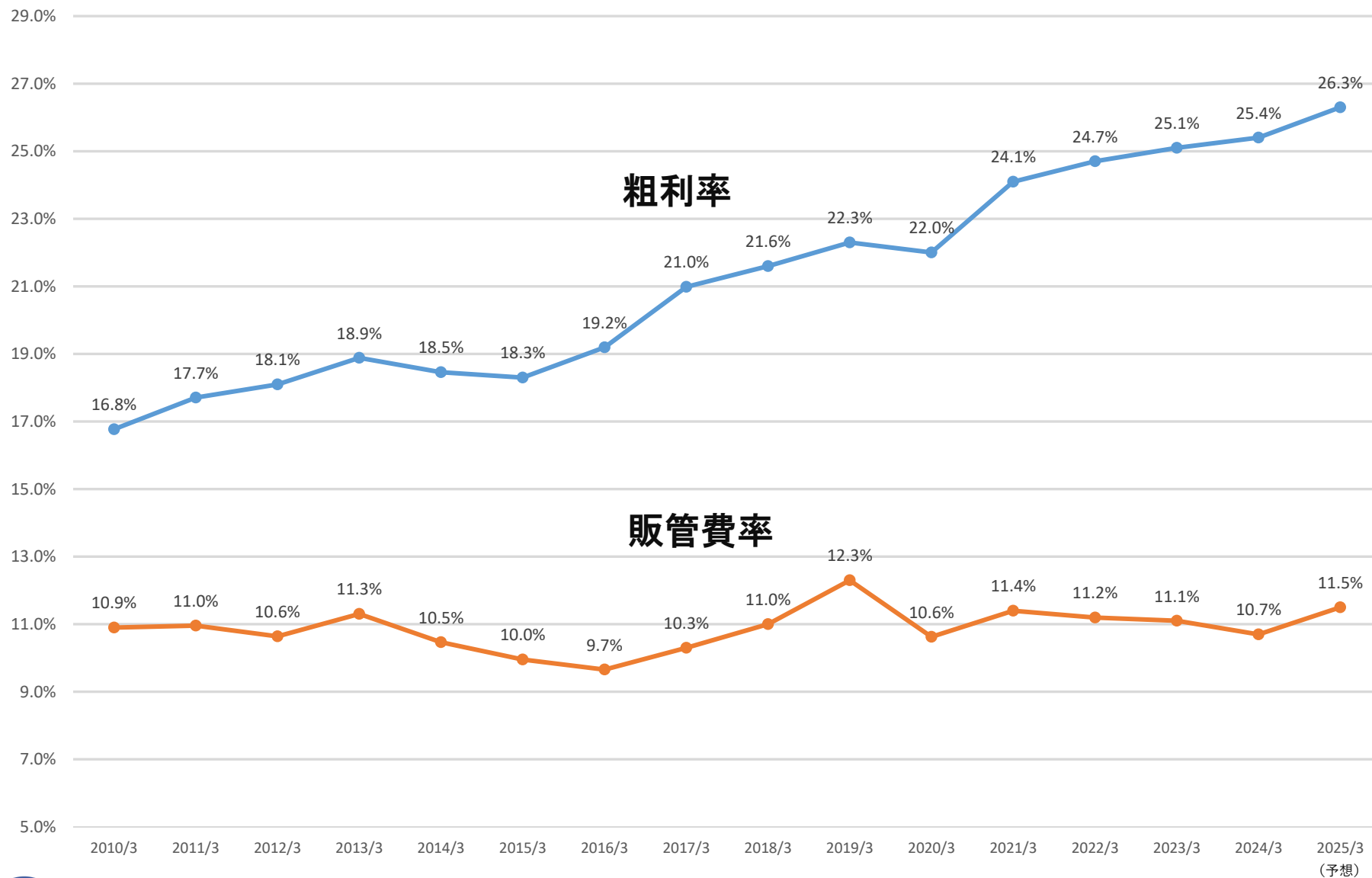


単位:百万円

	2025年3月期 計画	2024年3月期 実績	差異
(株)SRA	24,000	21,903	+2,097
(株)AIT	15,400	16,112	△712
国内子会社	8,300	7,704	+596
海外子会社	2,900	2,730	+170

※連結相殺前の数値

参考：粗利益率と販管費率の推移(連結・通期)





3

2025年3月期 中間期 決算概要

事業環境、今後の見通し



●世界

- ・ 米中摩擦の継続、ウクライナ問題の長期化、中東情勢の緊迫化など地政学リスクが高まるなか、米国や欧州における金利水準の高止まりによる景気後退懸念や、中国における不動産不況の継続など、先行き不透明な状況が継続

●国内

- ・ 物価高騰の一方で雇用や所得環境の改善もあり緩やかながらも回復基調継続

●情報サービス産業

- ・ エネルギー・原材料価格の高騰などはいまだ継続しているものの、業務効率化やビジネスの改革等の投資需要は堅調に推移
- ・ しかしながら、製造業の一部のお客様においては、既に中国の不況の影響を受けている会社や、足元で不透明感が増している自動車関連の会社など、今後のシステム投資への影響が懸念されるお客様も存在
- ・ 加えて、米国大統領選挙においてトランプ氏の再選が確実になったことにより、先行きの不透明感は一層深まったものと考えられ、今後の下振れリスクに備え、これまで以上にお客様の動向をしっかりと注視する必要があるものと認識

業績/前年比



●売上高:増収

●粗利益:増益

●販管费率:低下

●営業利益:増益

●経常利益:減益

●当期純利益:減益

単位:百万円

	2025年3月期 2Q実績	2024年3月期 2Q実績	差異 (増減率)
売上高	23,849	22,612	+1,236 (+5.5%)
粗利益	6,181	5,777	+404 (+7.0%)
粗利益率	25.9%	25.5%	+0.4%
販管費	2,565	2,507	+58 (+2.3%)
販管费率	10.8%	11.1%	△0.3%
営業利益	3,615	3,270	+345 (+10.6%)
営業利益率	15.2%	14.5%	+0.7%
経常利益	3,142	4,604	△1,462 (△31.8%)
経常利益率	13.2%	20.4%	△7.2%
当期純利益	2,062	2,883	△821 (△28.5%)

業績/業績予想(2024年5月発表)比較

● いずれも堅調に進捗

売上高、粗利益、営業利益は、いずれも過去最高額

単位:百万円

	2025年3月期		
	2Q実績	通期業績予想 (2024年5月発表)	(進捗率)
売上高	23,849	49,500	48.2%
営業利益	3,615	7,300	49.5%
経常利益	3,142	7,350	42.8%
当期純利益	2,062	4,600	44.8%
1株当たり当期純利益	163.48	365.49	44.7%

売上高/セグメント別(前年比)

- 開発事業：増加 …金融業向け及び製造業向けが増加
- 運用・構築事業：増加 …製造業及び情報サービス業向けが増加
- 販売事業：増加 …AITが増加

単位：百万円

	2025年3月期 2Q実績	2024年3月期 2Q実績	差異 (増減率)
開発事業	12,396	11,880	+515 (+4.3%)
運用・構築事業	3,166	2,920	+245 (+8.4%)
販売事業	8,286	7,812	+474 (+6.1%)
合計	23,849	22,612	+1,236 (+5.5%)

売上高/顧客業種別

単位:百万円

	開発事業		運用・構築事業	
	2025年3月期 2Q	2024年3月期 2Q	2025年3月期 2Q	2024年3月期 2Q
製造業	➡ 4,795	4,704	➡ 745	585
通 信	260	248	451	463
電力・ガス	570	508	11	-
金融	➡ 3,746	3,560	596	571
生損保	189	159	48	38
流 通	485	444	-	-
大学等	359	401	520	520
ハードメーカー	122	140	55	51
情報サービス	545	559	➡ 632	577
サービス他	1,319	1,152	93	112
合 計	12,396	11,880	3,167	2,920



販売事業：前年比 増加（＋22.5%）

AIT 販売事業 売上高

単位：百万円

2025年3月期 2Q実績	2024年3月期 2Q実績	差 異 (増減率)
7,056	6,522	+534 (+8.2%)

◎金融業向けが大幅に増加

SRA 販売事業 売上高

単位：百万円

2025年3月期 2Q実績	2024年3月期 2Q実績	差 異 (増減率)
659	719	△60 (△8.4%)

収益分析(前年比)

粗利益、営業利益の利益額・利益率ともに過去最高

- 粗利益 増益 **6,181百万円** +404百万円(+7.0%)
粗利益率 25.5%→**25.9%** } 7期連続で過去最高を更新
〔主な要因〕 運用・構築事業の好調、収益向上施策伸展
- 営業利益 増益 **3,615百万円** +345百万円(+10.6%)
営業利益率: 14.5%→**15.2%** } 6期連続で過去最高を更新
〔主な要因〕 営業活動の効率化、販管費の機動的な運用
- 経常利益 減益 3,142百万円 △1,462百万円(△31.8%)
経常利益率: 20.4%→ 13.2%
〔主な要因〕 前年の為替差益(+1,235百万円)から為替差損(△699百万円)に転じたため減益
(ご参考)2023年9月末 1米ドル149.58円(2023年3月末比16.05円の円安)
2024年9月末 1米ドル142.73円(2024年3月末比 8.68円の円高)
- 当期純利益 減益 2,062百万円 △821百万円(△28.5%)
〔主な要因〕 経常利益の減少

参考：グループ会社実績

単位：百万円

		2025年3月期 2Q実績	2024年3月期 2Q実績
(株)SRA	売上高	11,014	10,777
	営業利益	1,931	1,690
(株)AIT	売上高	8,326	7,738
	営業利益	918	925
(株)ソフトウェア・サイエンス	売上高	2,048	1,707
	営業利益	319	249
(株)SRA西日本	売上高	685	694
	営業利益	135	127
(株)SRA東北	売上高	663	551
	営業利益	109	93
(株)SRA OSS	売上高	490	433
	営業利益	255	209
SRAアメリカ SRAヨーロッパ	売上高	867	719
	営業利益	91	50
その他の子会社	売上高	747	1,019
	営業利益	△250	△195
合計	売上高	24,843	23,641
	営業利益	3,511	3,151

※合計は単純合算(連結相殺前の数値)

太字：前年同期比で増

4

施策の進捗状況と今後の取り組み

SRAグループ経営方針

【施 策】

1. 既存顧客の深耕

SRAグループ各社・SRA社内各事業部の顧客をグループ内で連携することでシナジーを発揮

2. ビジネスモデルの変革

(A)コンサルティング業務の強化

- ① 顧客ニーズの高いOracle ERP CloudやSalesforce等の強化
- ② 収益性の高い自社IP (UniVisionやP-CON等)の推進
- ③ 実績を有する「会計」「学校関連」「ヘルスケア」等の注力

【進捗状況】

1. 既存顧客の深耕

- ・ 各社間・事業部間連携が継続的に進展、件数・規模とも増加
- ・ グループ間取引は前同比1.6倍に拡大

2. ビジネスモデルの変革

(A)コンサルティング業務の強化

- ① Oracle ERP Cloudは「自社導入」が一段落しつつあり、導入過程で体得した知見を活かして、今後、顧客向けビジネスを展開
- ② 複数大学オファアのある新UniVisionの開発は順調、他に位置情報取得機能のある安否確認システムも自社開発中
- ③ 学校関連では、文部科学省の「オープンアクセス加速化事業」を背景に自社DB-Spiralが好調 (SRA東北で13大学)

SRAグループ経営方針

【施策】

2. ビジネスモデルの変革

(B)クラウドビジネスの強化

① サービス展開

マルチクラウドやハイブリッドクラウドへの対応サービスの充実、自社IPのSaaS化

② クラウドインフラビジネス

AWSサービスのメニュー化、サービスデスク開発、常駐&リモートのハイブリッド運用

③ クラウドベンダーとの連携

AWSセレクトコンサルティングパートナー、IBMクラウドプラットフォームのリーディングパートナー

【進捗状況】

2. ビジネスモデルの変革

(B)クラウドビジネスの強化

① サービス展開

AWSに加えてAzureのサービス化に着手、マルチクラウドやハイブリッドクラウド対応を推進中

② クラウドインフラビジネス

内部向けクラウド環境整備やメニュー化は完了、外部向けには上流工程から下流工程に至るまでワンストップで提供しており、サービスを展開中

③ クラウドベンダーとの連携

AWS資格取得を強化し、最上位を含む200以上の認定資格を取得、知見を高めパートナーティア昇格を目指す

SRAグループ経営方針

【施 策】

2. ビジネスモデルの変革

(C)ソリューションビジネスの推進

①セキュリティサービス

情報提供、コンサルティング、
運用(SOCサービス)、
診断(Webアプリ)

②ペーパーレス、ヘルスケア

自社IPの帳票サービスP-CON、
HEALTHPLAYERの展開により
デジタルヘルス分野、
電子帳票(FiBridge)
電子証跡(DataDelivery、invoiceAgent)

③ローコスト開発

OutSystems、ServiceNow等により
LowCode、NoCode開発

【進捗状況】

2. ビジネスモデルの変革

(C)ソリューションビジネスの推進

①セキュリティサービス

- ・展示会等での販促活動を強化
- ・セキュリティ運用案件の獲得、引き合いが増加

②ペーパーレス、ヘルスケア

ペーパーレスについては、自社IPの帳票
サービスP-CON、電子帳票(FiBridge)を
推進、HEALTHPLAYERについては、今
後ユーザビリティとキャパシティを向上

③ローコスト開発

LowCode、NoCodeであるOutSystems、
ServiceNowを得意とする関西事業部の
ビジネスを他事業部にも展開しており、
引き続き堅調に推移

SRAグループ経営方針

【施 策】

3. 自社IP、グローバルビジネスの推進

- ① 自社IPの商品力向上と販売力強化
(P-CON、Proxim、Cavirin、UniVision等)
- ② オープンソースやクラウド対応によるセキュリティ、健康管理、データ分析、AI等成長分野における新自社IP製品開発
(FIDO対応セキュリティ製品、ウェアラブルアプリ)
- ③ OSSへの取り組み:PostgreSQL、Zabbix、HAクラスタリング、OSSプロフェッショナルサポートサービス
- ④ アナリティクス/AIソリューションの推進
- ⑤ マルチクラウドやハイブリッドクラウドへの対応サービスの充実
- ⑥ 東南アジア、特にベトナムを中心とした市場の開拓

【進捗状況】

3. 自社IP、グローバルビジネスの推進

- ① 自社IPの商品力向上と販売力強化については、Cavirinを使った診断レポートサービスを既存の監視サービスに標準で組み込む方針で推進中
- ② ウェアラブルアプリは有用性が評価され職業訓練校での導入が決定、自社開発中の位置情報サービスを新UniVisionやHEALTH PLAYERに活用予定
- ③ 5月にOSSサポート業務に係るNTTデータグループとの資本業務提携を発表(10月には同社より役職員も受け入れ本格稼働開始)
- ④ AITにおいて「AI365」をドライバーに、グループ会社も含め展開
- ⑤ 要件定義からの参画により、従来の構築、運用サービスに加え、コンサル領域でのサービス拡大を図る
- ⑥ ベトナム出資先NALでのビジネスは堅調



5

株主還元

株主還元の充実

■1株当たり 配当金

・2023年3月期:140円

中間配当金:40円+期末配当金:100円

(期末配当 当初計画比10円増配)

配当性向 196.8% 配当利回り: 4.8%

・2024年3月期:160円

中間配当金:40円+期末配当金:120円

(期末配当 当初計画比20円増配)

配当性向 43.5% 配当利回り: 4.0%

・2025年3月期:170円(計画)

中間配当金:80円+期末配当金:90円

配当性向 46.5%

※中間純利益は減少していますが、為替差損益の変動によるものであり、以前「配当方針の見直しに関するお知らせ」にて発表した方針に則って計画通りの配当を実施予定

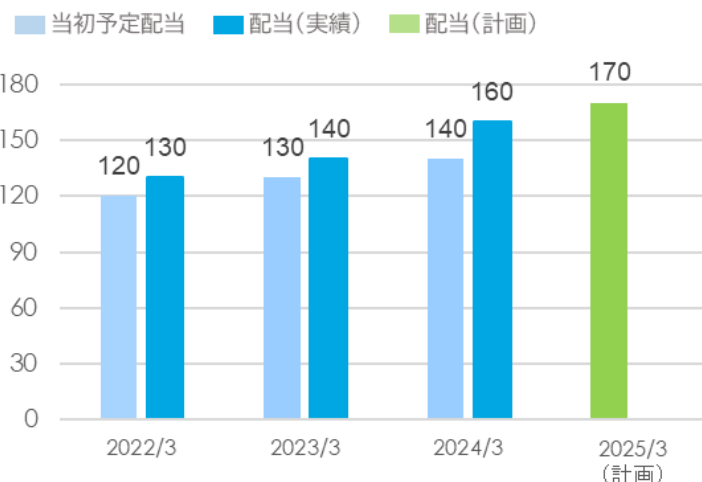
■ 連結 ROE 10%以上を持続的に確保

・2024年3月期:16.6%

・2025年3月期:15.3%(予想)

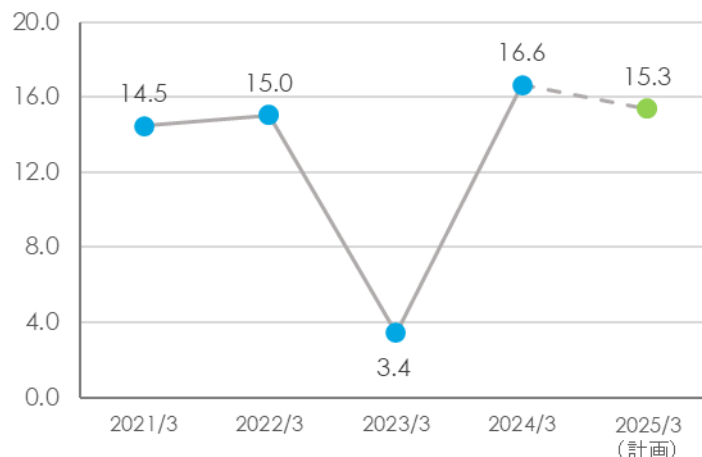
1株当たり配当金

(単位:円)



ROE(自己資本当期純利益率)

(単位:%)



参考：配当金の推移

親会社株主に帰属する当期純利益と1株当たり配当金の推移





Q&A



Appendix



「自らの職業的実践を通じ、コンピュータサイエンスの諸分野を発展させ、それによって人類の未来に貢献する」

1967年 11月	株式会社ソフトウェア・リサーチ・アソシエイツ(現 株式会社SRA) を設立 Software Research Associates, Inc. (SRAの社名由来)
1970年 5月	社団法人ソフトウェア産業振興協会 (現 社団法人情報サービス産業協会) 設立に参加
1980年 10月	情報化促進貢献企業として通商産業大臣より表彰される
1984年 11月	SRA AMERICA, INC.を設立
1989年 12月	株式会社SRA 日本証券業協会に株式を店頭登録
1998年 1月	株式会社SRAが「ISO9001」の認証を取得(ネットワーク構築と運用サービス)
1999年 2月	株式会社SRAが「プライバシーマーク」付与の認定を受ける
2000年 11月	株式会社SRA 東京証券取引所市場第二部へ株式を上場
2005年 3月	株式会社SRA 東京証券取引所市場第一部銘柄に指定
2006年 9月	株式交換により株式会社SRAを完全子会社化、 株式会社SRAホールディングスが東京証券取引所市場第一部に上場



SRA OSS, Inc.
サンタクララ(米国カリフォルニア州)
Cavirin Systems, Inc.
Proxim Wireless Corporation
サンノゼ(米国カリフォルニア州)

SRA AMERICA, INC.
ニューヨーク(米国ニューヨーク州)

Soft Road Apps DOO
ベオグラード(セルビア)

愛司聯發軟件科技(上海)
有限公司
上海(中国)

(株) SRA西日本

(株) SRA西日本/広島事業所

(株) SRA東北

(株) SRAホールディングス
—— 先端技術研究所

(株) SRA
(株) ソフトウェア・サイエンス
(株) AIT

(株) SRAプロフェッショナルサービス
(株) SRA OSS

(株) SRA/関西事業所

(株) SRA/中部事業所

SRA (Europe) B.V.
アムステルフェーン(オランダ)

SRA IP Solutions (Asia Pacific)
Pte. Ltd.
シンガポール

SRA India Private Limited
バンガロール(インド)



自社開発(自社IP)製品をはじめ国内外の優れた先進的製品をソリューション/サービスとして提供

【製品名：キャバリン】



<https://www.cavirin.com/>

ハイブリッドクラウド用の包括的コンプライアンス、セキュリティソリューション。DevSecOpsに基づく。データセンターとマルチクラウドに対応し、統一かつ一元的にセキュリティポリシーを適用

【製品名：ピーコン】



<https://www.sra.co.jp/p-con/>

既存の紙の書類を「そのまま」デジタル化できるペーパーレスソリューション。電子契約・ワークフローにも対応、コスト削減・業務効率化を実現

【製品名：ユニビジョン】



<https://www.sra.co.jp/UniVision/>

「学生ポートフォリオシステム」「大学情報データベースシステム」等、ニーズの高い文教システムをWebサービスにより統合した大学事務ソリューション

【製品名：プロジェデポ】



<https://www.sra.co.jp/projdepot/>

ソフトウェア開発現場のニーズから生まれたチーム開発環境。組織においてプロジェクトを一元的に管理し、ソフトウェア資産の安全で効率的なマネジメントを支援

【製品名：パワーグレス】



<https://powergres.sraoss.co.jp/>

オープンソースデータベースで実績・定評のある「PostgreSQL」をベースに、データベースの操作ツールやサポートを付属した製品

【製品名：テストデポ】



<https://www.sra.co.jp/testdepot/>

組込みソフトウェア開発において、従来、人手を掛けて行っていたテスト作業（設定・操作・確認）の自動化支援ツール。実機を含め、統合的でシームレスなテスト環境構築を実現

【製品名：メールデポ】



<https://www.sra.co.jp/maildepot/>

Microsoft365、Google Workspaceにも対応するコンプライアンス対策に最適なメールアーカイブ製品。高速検索・大容量対応を実現

【製品名：テストブリッシュ】



<https://www.sra.co.jp/testablish/>

GUIアプリケーションのテスト自動化支援ツール。ツール上でテストケースを作成し、仕様書とSeleniumコードを自動生成することにより、テスト自動化を実現

＜将来見通し等に関する注意事項＞

本資料につきましては、投資家の皆様への情報提供のみを目的としたものであり、売買の勧誘を目的としたものではありません。

また、本資料における将来予想に関する記述につきましては、目標や予測に基づいており、確約や保証を与えるものではありません。将来における当社の業績が、現在の当社の将来予想と異なる結果になることがある点を認識された上で、ご利用ください。

本資料は、投資家の皆様がいかなる目的にご利用される場合においても、ご自身のご判断と責任においてご利用されることを前提としており、当社はいかなる場合においてもその責任は負いません。